

令和4年度 【英語科】 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度は小学校からの連携で、「書くこと」の項目に力を入れていたが、第1学年で学力格差が大きく、消極的な姿勢で授業に臨んでいる生徒が散見する。更に小学校との連携を図っていく必要性を感じた。
- ・自己紹介やスピーチ発表、ペアワークなどのアウトプット活動を多く取り入れることによって、生徒の表現力やコミュニケーション能力の向上を図ることができた。

(2) 課題

- ・2クラスを3展開する習熟度別少人数指導を取り入れ、より小さい単位で生徒一人一人の学習状況を注意深く見ていく。また、スピーチテスト、リーディングテストやインタビューテストなどを通して、英語で表現する力を身に付けられるよう指導していく。
- ・生徒一人一人がタブレットを使用し、学習を進めていけるよう、日頃から授業にタブレット学習を取り入れていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	区の標準スコアよりも少し上回っている。		
第2学年	区の標準スコアよりも下回っている。	実施なし (第1学年時)	
第3学年	区の標準スコアよりも下回っている。	区の標準スコアよりも下回った。 (第2学年時)	実施なし (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期的な単語テストやスピーチテストを行い、基礎的・基本的な一年生次の英語の知識の定着を図る。	普段の授業から、言語活動を行い、自分のことについて英語で話せる力を身につける。授業での指示等は基本的に英語で行い、英語での会話の理解力を高める。	ICT 機器等を使用して、英語の授業の質を高め、自ら英語を学ぼうとする態度を育成する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙力強化、音読などによって、基礎的・基本的な内容の定着を図る。スピーチテストを行い、話す（発表）の力を伸ばす。	言語活動を中心に、様々なことを英語で表現できる力を身につける。	ICT 機器等を活用して、自ら学習に取り組む姿勢を育成する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙力の強化やディクテーションを行い、基礎的・基本的な内容の定着を目指す。スピーチテストを実施し、話す（発表）の力を伸長する。	言語活動をさらに充実させ、アウトプット活動に力を入れ、基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう自学ノートに取り組んでいる。